

# ありま



令和6年6月27日

学校だより7月号

川崎市立有馬小学校

令和6年度学校教育目標スローガン

『 一歩前へ 受け止め聴き出し つなごう有馬 』



## 伝統を引き継いで

校長 本田 明子

関東地方は平年より2週間遅い梅雨入りとなりました。梅雨の晴れ間には、真夏を思わせるように陽ざしが照りつけています。校庭は工事のため通常の半分ほどになりましたが、夏を思う暑さをものともせず、休み時間になると子供たちは元気に校庭に飛び出し体を動かしています。子供たちの体調管理に十分配慮しながら楽しく過ごしていけるよう指導していきます。

今年も地域の農家の方にご協力いただき、有馬ファームの田んぼに稲の苗が植えられました。田植えを行ったのは5年生。学習と関連させ毎年米作りに取り組んでいます。稲を育てていくのは5年生ですが、田植えの前の代かきは4年生が行います。5年生に教わりながらそっと田んぼに足を入れ、歩いて土を柔らかくしました。上級生から下級生へ、このような取組を通して伝統を引き継いでいきます。



4月のありリンピックをはじめとして、これまで予定通りの教育活動を進めることができました。これもひとえに保護者・地域の皆様の多大なるご理解、ご協力をいただいたおかげです。心から感謝申し上げます。今年の夏休みは、7月20日から8月31日までの43日間。レジャーや観光、イベントへの参加など夏休みならではのふだんできない経験をしてもらいたいと思います。7月26日に開幕するパリ五輪のTV観戦も楽しみの一つです。猛暑が予想されていますが、けがや事故にあわないよう注意して、一日一日を大切に有意義な夏休みをお過ごしください。

## ～川崎市市制100周年 「川崎」ってどんなまち？～

7月1日は市制記念日。川崎市の市章は下が少し空いている三重丸の形で、川崎の川の字を表しているとともに、歴史ある多摩川と一緒に発展する川崎を表しています。市の花はつつじ、市の木はつばき。現在人口は155万人を突破しました。市制100周年の取組として、市制100周年のロゴマークや「かわさきブランドメッセージ」に込められた思いについて学びました。さらに、自分たちの学校にはたくさんの地域の方々関わってくださっていることや有馬のまちの魅力について改めて考えたり話し合ったりしました。

●お知らせ：夏休み期間も校舎再生整備工事は行われ、西門を工事車両が出入りします。工事車両の出入り時には誘導員が配置されるなど安全確保に努めます。ご家庭でもお子様の外出時は注意するようお願いしてください。

○教育相談窓口：相談窓口担当は、支援教育コーディネーターの松本彩子総括教諭です

○学校巡回カウンセラー来校日：7月8日(月)

\*相談ご希望の方は、電話でお申し込みください。(担当：支援教育 CO 松本 有馬小学校 866-1447)

